

整形外科

山内裕樹先生の記事が 新聞に掲載されました。

平成28年11月11日(金)沖縄タイムス記事引用

整形外科は筋肉や骨を主に扱う診療科です。美容などで整形という言葉がよく出てきますが、美容は形成外科が専門になりますのでぜひそちらでご相談頂きたいと思いません。

さて骨を扱う、というと皆さまのような治療を思い浮かべるでしょうか。骨折してまってギブスを巻いたり、大工さんのようにドリルやトンカチを持って骨折をつないだり、といったイメージが主だろうと思います。

もちろんそれも大事な整形外科医の役割の一つです。他にも、関節が傷んで駄目になってしまった方への人工関節手術、背骨が曲がってしまったり背骨の中の神経にさわるようになってしまった方への脊椎手術、またスポーツ障害の内視鏡手術、骨や筋肉にできた腫瘍手術なども整形外科の担当になります。

しかしそれだけではありません。そもそも骨の体内における働きってどのようなものがあるかご存じですか？皆さまご存じなのは、硬くて体の支柱になるようなもの、という点だと思えます。もちろんこれも大事な骨の役割です。

しかしここ最近では骨の分野の研究が飛躍的に進んできており、「骨免疫」という言葉が出てきているように、体全体に影響を及ぼす一つの臓器である、という考え方がなされるようになってきました。骨が臓器の一つなんて不思議な感じがしますね。カルシウムやリンなどのミネラルの調整作用、骨の強さの調整作用、血を作り出す造血作用が骨の三つ大事な機能と言われています。そのため、副甲状腺や腎臓などとも大切な連携を取っています。

整形外科はその骨の専門家ですので、最近では骨だけを診るのではなく、骨を中心に全身を診る必要が出てきており、大変興味深い分野になっています。整形外科なのになんで採血するんですか？

という質問も頂くことがあります。このような理由がある事をご理解いただければと思います。

骨がもろくなってしまう骨粗しょう症という病気も皆さまご存じだとは思いますが、その治療も最近はいろいろな新しい方法が確立されてきています。

以前は一つ薬を飲んで骨を強くしましょう、という治療でしたが、最近ではそれだけでは不十分で、非常に綿密な計画に基づいた治療が必要になっていることも研究の結果から分かってきています。その治療も大事な整形外科医の役割です。

骨について困ることがあれば、ぜひ整形外科にご相談ください。また現在、整形外科を受診なさっている場合には、骨を中心にいろいろな分野を診ているんだなあ、と思いつつながら受診して頂くと面白いかもしれません。